

「平成26年度 病虫害発生予報第3号」の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稻では、イネ縞葉枯病及びヒメトビウンカの発生が多くなっています。都道府県が発表する発生予察情報を参考にして、適期に薬剤防除を実施してください。また、いもち病の発生は概ね「平年並」と予想されます。しかしながら、梅雨時期を迎え、いもち病の発生に好適な気象条件となるため、いもち病が急激にまん延する場合がありますので注意が必要です。ほ場の観察を行い早期発見、適期防除に努めてください。
- ・ 果樹では、カメムシ類の発生が多くなると予想されます。本年は、果樹カメムシ類の越冬量が多く、餌を求めて果樹園に多く飛来することが予想されます。園内の観察を行い、飛来初期からの防除に努めてください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、早期発見に努め、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
 - ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。
- また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。このことについては、農林水産省が、6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で実施する「農薬危害防止運動」においても注意を呼びかけています。

(参考) 平成 26 年 4 月 25 日付けプレスリリース「農薬危害防止運動」の実施について

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/140425.html>

- ・ 6 月 10 日の気象庁発表のエルニーニョ監視速報(No.261)では、今夏は 5 年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高いとされています。エルニーニョ現象下では、北日本を中心に梅雨明けが遅くなり、冷夏、多雨となるとされており、病害が発生しやすい環境にあります。ほ場の観察を行い早期発見、適期防除に努めてください。

水稻

- ・ **イネ縞葉枯病**の発生は、関東の一部地域で「多い」、東海、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想され、また、イネ縞葉枯ウイルスを媒介する**ヒメトビウンカ**の発生は、南関東、東海、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。ヒメトビウンカの防除がイネ縞葉枯病の発生を抑えるので、都道府県が発表する発生予察情報を参考にして、特にイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率が高い地域及び前年にイネ縞葉枯病が多発した地域においては、適期に防除を実施してください。また、発病株は早期に抜き取り、ほ場外の土中に埋める等適切に処分してください。
- ・ **いもち病**の発生は、東海及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されているほかは、概ね「平年並」と予想されます。しかしながら、梅雨時期を迎え、いもち病の発生に好適な気象条件となるため、いもち病が急激にまん延する場合があるので注意が必要です。また気象庁の発表では今夏はエルニーニョ現象の発生が予測されていることから、北日本を中心に梅雨明けの遅れ、冷夏、多雨に注意が必要です。ほ場の観察を行い早期発見、適期防除に努めてください。田植え後、本田に放置された補植用取置き苗は、密生して加湿状態となっているためいもち病が発生しやすく、伝染源となるので早期の除去を徹底してください。
- ・ **イネミズゾウムシ**の発生は、北九州の一部地域で「多い」、東北及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。育苗箱施用剤による防除をしていない場合は、適期に本田での防除を実施してください。
- ・ **ニカメイガ**の発生は、北関東及び北陸の一部地域で「多い」と予想されます。本害虫は局所的に多発する場合があるので、本田の観察を行い、発生に応じて適期に防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 気温の上昇に伴い病虫害の動きも活発になるので、ほ場観察を行い病虫害の早期発見、適期薬剤防除に努めてください。

施設栽培

- ・ 気温上昇に伴い、施設を開放する機会が増えるので、病虫害の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
- ・ ウイルス病を媒介するアザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類等の侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置する等の対策を実施してください。また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して、雨水が施設内に入らないように留意するとともに、作物の株間の通風を図る等、施設内が過湿にならないように管理してください。また、病害の早期発見に努め、伝染源となる罹病葉や罹病果は除去し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ 梅雨やエルニーニョ現象に伴い冷夏となる場合には野菜の病害の発生を助長しますので、ほ場の観察を行い、早期発見及び適期防除に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、土中に埋める等確実に処分してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及び地域（露地・施設栽培）

作物名	病害虫	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
キャベツ	アブラムシ類		近畿、南九州
	コナガ		北東北、近畿
	モンシロチョウ		南東北、北陸
	ヨトウガ		南東北、北陸
さつまいも	アブラムシ類		四国
さといも	アブラムシ類		南関東
	ハダニ類	北陸	南関東
ばれいしょ	アブラムシ類		近畿
だいこん	モンシロチョウ		北陸
	ヨトウガ		北陸
たまねぎ	ネギハモグリバエ	北陸	
	ヨトウガ		北陸
ねぎ	さび病		南関東
	べと病		中国
	アブラムシ類		近畿
	ネギアザミウマ	北東北、関東、北陸、 近畿	四国、北九州
いちご	ハダニ類	北陸	近畿、中国
きゅうり	うどんこ病		南関東、北陸
	べと病		南関東
	アザミウマ類		南関東、近畿
	アブラムシ類		北東北、近畿
	コナジラミ類		南関東
	ハダニ類	北陸	近畿
すいか	うどんこ病		南関東、北陸
	アブラムシ類		北陸、近畿、中国
	ハダニ類	北陸	南関東、近畿、中国

トマト	青枯病	北陸	
	アザミウマ類		南関東
	アブラムシ類		東海、近畿
	コナジラミ類	南関東	北陸、北九州
	タバコガ類	南関東	東海
なす	青枯病		北陸
	うどんこ病		北陸
	アザミウマ類		南関東、近畿
	アブラムシ類		近畿、南九州
	オオタバコガ	南関東	
	コナジラミ類		南九州
	ハダニ類	北陸	近畿
	ヨトウガ		北陸
ピーマン	うどんこ病		北関東
	アザミウマ類	北関東	
ほうれんそう	アブラムシ類	近畿	
メロン	うどんこ病		南関東
	つる枯病		南関東
	ハダニ類		南関東
きく	白さび病		北関東、東海、近畿
	黒斑病、褐斑病	東海	
	アザミウマ類	東海	南東北
	アブラムシ類		北関東、東海
	ハダニ類		南東北、南九州
	ハモグリバエ類		南九州
リンドウ	ハダニ類	北東北	
	リンドウホソハマキ		北東北

注) 表中の地域については、その地域全域で発生が見られるものではありません。

ねぎ

- ・ **ネギアザミウマ**の発生は、北東北、関東、北陸及び近畿の一部地域で「多い」、四国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

いちご

- ・ **ハダニ類**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

きゅうり

- ・ **ハダニ類**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

すいか

- ・ **ハダニ類**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、南関東、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

トマト

- ・ **コナジラミ類**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、北陸及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

なす

- ・ **ハダニ類**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

きく

- ・ **アザミウマ類**の発生は、東海の一部地域で「多い」、南東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、関東、近畿、東海及び四国で「多い」、北東北及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、越冬場所である山林等から飛来してくるので、例年、カメムシ類の被害が多い園地や山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。本年は、果樹カメムシ類の越冬量が多く、餌を求めて果樹園に多く飛来することが予想されます。飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

りんご

- ・ **クワコナカイガラムシ**の発生は、北東北の一部地域で「多い」と予想されます。園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて適期に防除を実施してください。
- ・ **モモシンクイガ**の発生は、北東北の一部地域で「多い」と予想されます。都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

キウイフルーツ

- ・ 本年5月以降、国内で発生が確認されていなかった新系統（Psa3系統）の病原菌による**キウイフルーツかいよう病**の発生が確認され、7県で特殊報が発表されています。

本病の早期発見及び早期防除に努めるため、園内の観察をきめ細かく行い、新梢の枯死などの病徴が急速に進行する等の従来のかいよう病とは異なる症状が確認された場合は、登録農薬による迅速な防除を行うとともに、各県の病虫害防除所への連絡をお願いします。

茶

- ・ **チャノホソガ**の発生は、東海の一部地域で「多い」と予想されます。本害虫は、萌芽期から開葉期に成虫が発生すると被害が大きくなります。新芽への産卵を確認して、萌芽期から開葉期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャハマキ**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は成虫発生最盛日の7～10日後が薬剤防除適期になります。地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成26年5月10日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

重要な病虫害が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

- ・ 発表はありません。

■ 注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県	対象作物名	対象病害虫
5月13日	長野県	果樹、野菜等	マイマイガ
5月14日	北海道	小麦	赤さび病
5月14日	福井県	(フェロモントラップ)	ネキリムシ類（カブラヤガ、タマナヤガ）
5月14日	奈良県	うめ・もも・なし・かき・ぶどう・かんきつ	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）
5月16日	岐阜県	果樹作物	マイマイガ
5月19日	徳島県	果樹全般（特に、なし、もも、うめ、かき、かんきつ類等）	果樹カメムシ類（主にツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）
5月21日	秋田県	水稻	イネヒメハモグリバエ
5月21日	三重県	なし、かき等	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
5月22日	岐阜県	果樹作物（なし、もも、かき、りんご、みかん等）	果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ越冬世代成虫）
5月23日	埼玉県	水稻	イネ縞葉枯病
5月26日	高知県	果樹全般（うめ、もも、すもも、なし、かき、かんきつ類）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
5月28日	茨城県	果樹類（なし、かき、りんご、ぶどう等）	チャバネアオカメムシ
5月29日	栃木県	水稻	イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ媒介）
5月30日	神奈川県	なし、かき、キウイフルーツ、うめ等	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
5月30日	神奈川県	なす、トマト、ピーマン等	オオタバコガ
5月30日	千葉県	果樹全般（特にびわ、なし、かんきつ）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

5月30日	大阪府	果樹全般（もも、うめ、かき、ぶどう等）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
6月2日	東京都	なし、ぶどう等	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ及びクサギカメムシ）
6月3日	香川県	もも、なし、かき、キウイフルーツ、ぶどう、かんきつ等	果樹のカメムシ類
6月5日	滋賀県	果樹（もも、うめ、なし、かき等）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
6月6日	京都府	果樹全般（特にもも、なし、かき、かんきつ類）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシなど）
6月6日	岩手県	ねぎ	ネギアザミウマ
6月6日	栃木県	果樹類（なし、りんご、もも、うめ、ぶどう等）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
6月9日	福島県	もも	モモせん孔細菌病
6月10日	山口県	なし、もも、りんご等果樹全般	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
6月12日	群馬県	果樹（なし、りんご）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
6月13日	鳥取県	ねぎ	ネギベと病
6月13日	広島県	果樹全般（なし、ぶどう、もも、かき、りんご、かんきつ等）	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

■ 特殊報

新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
5月19日	和歌山県	チャ、ヒサカキ	チャトゲコナジラミ
5月22日	佐賀県	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）
5月27日	岡山県	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）
5月29日	和歌山県	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）
6月6日	静岡県	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）
6月12日	山口県	バラ（施設栽培）	コナカイガラムシ類の一種

6 月 18 日	茨城県	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統)
----------	-----	---------	------------------------

用語解説

地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

平成 26 年度発表予定日

第 4 号： 7 月 10 日（木曜日）
 第 5 号： 7 月 24 日（木曜日）
 第 6 号： 8 月 14 日（木曜日）
 第 7 号： 9 月 18 日（木曜日）
 第 8 号： 10 月 16 日（木曜日）
 第 9 号： 11 月 13 日（木曜日）
 第 10 号： 平成 27 年 2 月 12 日（木曜日）
 （参考）これまでの発表
 第 1 号： 4 月 17 日（木曜日）

第 2 号 : 5 月 15 日(木曜日)

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 春日井、石部

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>